

【議事録】 要点筆記

会議名	エリアマネジメント専門分科会第4回	会場	芦屋町役場 31 会議室			
日時	令和3年8月5日(木) 18:00~18:40					
件名・議題	1 開会 2 議事 (1) 運営組織の形成に向けた方向性について (2) 外部人材登用の方向性について (3) 駐車場の管理運営方法について 3 その他					
委員の出欠	会長	内田 晃	出		宗 重成	欠
	副会長	志賀 勉	出		橋本 誠也	出
		大方 優子	出			
事務局等の出席	【事務局】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 芦屋町 芦屋港活性化推進室 ・ 芦屋町 産業観光課 商工観光係 【事務局支援】 株式会社オリエンタルコンサルタンツ九州支社					
合意・決定事項	<p>○運営組織の形成に向けた方向性については、地域組織活用型を基本とし、行政が関わるることができる組織体制を形成していくことが望ましい。</p> <p>○外部人材登用の方向性については、管理運営組織のキーパーソンとなるマネージャーを一般公募だけでなく、複合的な方法で外部から募集・登用することが望ましい。</p> <p>○駐車場の料金徴収の運用や管理運営方法については、地域住民や管理運営事業者、利用者の意見を踏まえて決めていくことが現時点では望ましく、管理運営組織形成までの検討課題とする。</p>					

エリアマネジメント専門分科会（令和3年8月5日開催分）議事録

1 開会

- 事務局より出席者（4名）・欠席者（1名）について報告。また、欠席者から事前に意見を伺っていることを報告。

2 議事

（1）運営組織の形成に向けた方向性について

- 資料1にて、運営組織の形成に向けた方向性について、他地域での事例等を参考にして、各施設の管理運営事業者や地元の地域組織が関わる組織体制図を説明。また、開業までスケジュールの案を説明した。【事務局】

○運営組織の形成に向けた方向性について、委員より意見を伺いたい。【会長】

⇒地域組織を基本としながら、地元の既存組織や行政も関わるような組織体制を目指していく方向性が望ましいと考える。また、事業を進めていくうえで様々な事態が起こる可能性があるため、その都度、状況に応じて柔軟に対応する必要があると考える。【委員】

⇒事例のうきは市のような体制が望ましいが、最初は行政が支援する範囲が大きくなることも考えられる。そういった点も想定しながら事業を進め、様々な事態が起きた時に柔軟に対応できる組織形成に向けて取り組んでもらいたい。【委員】

⇒管理運営組織と芦屋町観光協会が行う取り組みは重複する部分がある。ひとつのエリアに同じような組織が2つあることは良くないと考えるため、芦屋町観光協会の参入意向にもよるが、持続可能な組織となるために地元の既存組織を巻き込む方がよいので、管理運営組織内に部分的に組み合わせていくことも考えながら取り組みをすすめてもらいたい。【委員】

⇒管理運営組織に行政が深く関わりすぎても良くないと思うので、うきは市のように組織体とは別に会議などで行政が関わるという形は、バランスの面からも良いと考える。

【委員】

⇒今後、どのような人材を採用できるか、どういった人材が事業に関われるかといった点により、管理運営組織の体制図は変わっていく可能性がある。管理運営組織の事業部は、各施設の運営事業者が関わる重要な部分となる。管理運営方法として地域組織活用型を基本とし、うきは市の事例を参考にしながら、必要に応じてうきは市と情報交換を行い、行政も関連できる組織体制を形成していくことが望ましい方向性との結論でまとめていか。【会長】

⇒異議なし。【全委員】

(2) 外部人材登用の方向性について

■資料2にて、組織体制をもとに、多くのスキルと全体をマネジメントできる能力が求められるマネージャーを外部から登用していくことについて説明。【事務局】

○外部人材登用の方向性について、委員より意見を伺いたい。【会長】

⇒マネージャークラスを外部から登用する場合は、3年から5年などある程度の期間を設定し、マネージャーが地域と関りを持ちながら事業をすすめていける環境づくりが大切となる。また、マネージャー以外の人材については、町内の人材も含めて登用していく考え方で良い。ただし、全体をマネジメントできる人材を外部から登用できるかがポイントとなる。他自治体では、マネージャーが複数の雑務に追われ、本来のマネジメント業務に集中できないケースがあると聞いているので、そのようなことがないようにマネージャーを補佐する人の登用や行政の支援が大切だと考える。【委員】

⇒上手く適した人材を登用できるかどうか、マネージャーが力を発揮し易いような体制づくりができるかが重要なことなので、幅広い公募により、行政として状況に応じた柔軟な対応をしながら人材登用をすすめてもらいたい。【委員】

⇒各施設を管理運営する事業者からマネージャーやマネージャーを補佐する人材が現れる可能性も考えられるので、その視点も持って事業を進めてもらいたい。【委員】

⇒キーパーソンになるマネージャーが見つかるかどうかの本事業の大きなポイントとなる。複数の方法を活用し、複合的に人材を探していき、本事業に参画する人材を外部から登用することに異論はないが、現実的に外部からの登用は難しいところがある。【委員】

⇒ここまでの議論をまとめると、有能な人材をマネージャーとして登用できるか、という点がポイントとなる。人材登用については、施設運営事業者から管理運営組織に参画できる人材を見つけるという方法も良いと考える。その際に各施設の運営事業者間で上下関係が生まれることのないよう、運営事業者間のバランスを取ることが出来るリーダーのような立場で登用するなどの配慮が必要となる。また、事業部については、各運営事業者の代表者とマネージャー補佐がうまく連携できるような調整能力のある人材登用が望ましいし、企画宣伝部については、地域おこし協力隊のように広報活動に長けた人材等、町内にいる人材を活用できるとよい。会計処理や事務手続きが主となる総務部については、役場職員や役場職員OBが関わられるという視点を持つなど人材登用には行政の柔軟な対応が求められる。外部からの人材登用の方向性については、キーパーソンとなるマネージャーを、一般公募を中心としながら、複合的に募集・登用することが望ましいとのことで、分科会のまとめとしてよいか。【会長】

⇒異議なし。【全委員】

(3) 駐車場の管理運営方法について

■資料3にて、駐車場の管理運営方法について、適正な管理を行うために、利用者の利便性や管理運営事業者の収益性の面から検討していくことを説明。【事務局】

○「駐車場の管理運営方法」について、委員より意見を伺いたい。【会長】

⇒駐車場を施設ごとに管理すること、一括でまとめて管理することでは、現時点でどちらがよいかは決められない。各施設の管理運営事業者からの意見を聞き、柔軟に対応していくことが望ましい。駐車場の料金徴収が利用時のハードルにならないように、日常的に利用しやすいようにするなどの配慮が必要と考える。【委員】

⇒日常的な利用という視点は非常に大事なので、町民からも意見を聞く必要がある。そのため、駐車場の管理運営方法は今後の検討課題としたい。【事務局】

⇒駐車場の料金徴収をするということは、きちんと管理をするということになる。海釣施設の利用者は、夜間に安心して駐車したいという意見もある。【会長】

⇒適切な管理がなされていることを前提に、その費用をどう捻出するかということと、その収支バランスをどうとるかを検討していく必要がある。限りなく無料にとの考えのもと、一定の消費があれば無料にする等の対応を検討するとの対応でも構わないが、そういった対応をしても利用意向にブレーキをかける可能性も考えられる。慎重に検討していくべきである。【委員】

⇒利用者のほぼ全員が駐車場を利用することになると考えられる。駐車場の料金徴収だけでなく、1号上屋や全天候型施設から駐車場が遠いと感じるので、障がい者用の駐車場など施設周辺に整備するなど駐車場の利用しやすさも長期的な視点では利用意欲につながるため、駐車場の環境についても今後の検討課題とすることが望ましいと考える。また、各施設の管理運営事業者にとって、駐車場の管理運営が負担となるとの意見が挙がることも考えられる。【委員】

⇒方向性としては、町民の意見も踏まえながら、引き続き慎重に検討することが良い。管理運営を行う組織の形態によっては、施設ごとに駐車場を管理した方が良いのか、一つの施設管理事業者が駐車場を一括管理した方が良いのか、それぞれメリット・デメリットがある。また、全ての事業者が、駐車場を管理できるとは限らないことから、現時点では施設ごとに管理するという視点到らず、一括で駐車場を管理できる事業者がいるのであれば、コスト面等も踏まえ、そちらを選択してもよい。駐車場の料金徴収を行い、出入口付近に防犯カメラを設置することで、利用者が安全に駐車できるという視点も考えられるので、最終的には収支の試算と各施設の運営事業者との協議により決めていくことになる。また、イベント時の駐車場料金は、無料とする等の方法も考えられる。このため、駐車場の料金徴収の運用や管理運営方法については、地域住民や管理運営事業者、利用者の意見を踏まえて定めていくことが現時点では望ましく、管理運営組織形成までの検討課題とすることで分科会の意見としてまとめてよいか。【会長】

⇒異議なし。【全委員】